

【算数・数学】 目標・内容表

学部		小学部			中学部		高等部	
教科の目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
知識及び技能		(1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。			(1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。		(1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	
思考力、判断力、表現力等		(2)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。			(2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。		(2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。	
学びに向かう力、人間性等		(3)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			(3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
段階の目標		1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
知識及び技能	A 数量の基礎	ア 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。						
	A 数と計算 (1段階はB)	ア ものの有無や3までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わることについての技能を身に付けるようにする。	ア 10までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもって関わることについての技能を身に付けるようにする。	ア 100までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。	ア 3位数程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の意味や性質について理解し、これらを計算することについての技能を身に付けるようにする。	ア 整数の概念や性質について理解を深め、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり読み取ったりすることができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。	ア 整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。	ア 整数の性質、分数の意味、文字を用いた式について理解するとともに、分数の計算についての意味や法則について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。
	B 図形 (1段階はC)	ア 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについての技能を身に付けるようにする。	ア 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付けるようにする。	ア 身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付けるようにする。	ア 三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	ア 二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形や面積、角の大きさについて理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図や構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	ア 図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係、図形の合同や多角形の性質について理解し、図形を作図したり、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めたりする技能を身に付けるようにする。	ア 平面図形を縮小したり、拡大したりすることの意味や、立体図形の体積の求め方について理解し、縮図、拡大図を作図したり、円の面積や立方体、直方体、角柱、円柱の体積を求めたりする技能を身に付けるようにする。
C 測定 (1段階はD)	ア 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わることについての技能を身に付けるようにする。	ア 身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かることについての技能を身に付けるようにする。	ア 身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けるようにする。	ア 身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けるようにする。				

学部		小学部			中学部		高等部	
段階の目標		1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
知識及び技能	C 変化と関係					ア 二つの数量の関係や変化の様子を表や式、グラフで表すことについて理解するとともに、二つの数量の関係を割合によって比べることについての技能を身に付けるようにする。	ア 比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方、百分率について理解するとともに、目的に応じてある二つの数量の関係と別の二つの数量とを比べたり、表現したりする方法についての技能を身に付けるようにする。	ア 比例や反比例の関係、比について理解するとともに、伴って変わる二つの数量を見だし、それらの関係について表や式を用いて表現したり、目的に応じて比で処理したりする方法についての技能を身に付けるようにする。
	D データの活用		ア 身の回りのものや身近な出来事につながりに関心を持ち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付けるようにする。	ア 身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付けるようにする。	ア 身の回りにあるデータを分類整理して簡単な表やグラフに表したり、それらを問題解決において用いたりすることについての技能を身に付けるようにする。	ア データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。	ア データを円グラフや帯グラフで表す表し方や読み取り方、測定した結果を平均する方法について理解するとともに、それらの問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。	ア 量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法を理解するとともに、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	A 数量の基礎	イ 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心をもって関わる力を養う。						
	A 数と計算 (1段階はB)	イ 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする力を養う。	イ 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。	イ 日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を養う。	イ 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。	イ 数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見だし、筋道立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。	イ 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察したり、数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察したりするとともに、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現する力を養う。	イ 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだしたり、目的に応じて多様な表現方法を用いながら、数の表し方や計算の仕方などを考察したりするとともに、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現する力を養う。
	B 図形 (1段階はC)	イ 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力を養う。	イ 身の回りのものの形に関心を持ち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く力を養う。	イ 身の回りのものの形に着目し、ぴったり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養う。	イ 三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を養う。	イ 二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、図形を構成する要素に着目し、図形の計量について考察する力を養う。	イ 図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、三角形、平行四辺形、ひし形の面積の求め方を考え、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導く力を養う。	イ 図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、円の面積や立方体、直方体、角柱、円柱の体積の求め方を考え、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導く力を養う。
	C 測定 (1段階はD)	イ 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力を養う。	イ 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べる力を養う。	イ 身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を養う。	イ 身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力を養う。			

学部		小学部			中学部		高等部	
段階の目標		1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
思考力、判断力、表現力等	C 変化と関係					イ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、変化の特徴に気付き、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察したり、割合を用いて考察したりする力を養う。	イ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化や対応の特徴を表や式を用いて考察したり、異種の二つの量の割合を用いた数量の比べ方を考察したりする力を養う。	イ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いて変化や対応の特徴を考察したり、比例の関係を前提に二つの数量の関係を考察したりする力を養う。
	D データの活用		イ 身の回りのものや身近な出来事のつながりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を養う。	イ 身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を養う。	イ 身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養う。	イ 身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現したり、適切に判断したりする力を養う。	イ 目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。	イ 目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に捉え考察したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	A 数量の基礎	ウ 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。						
	A 数と計算(1段階はB)	ウ 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	ウ 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	ウ 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	ウ 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
	B 図形(1段階はC)	ウ 図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	ウ 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	ウ 図形や数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	ウ 図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ 図形や数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
	C 測定(1段階はD)	ウ 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	ウ 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	ウ 数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	ウ 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
	C 変化と関係					ウ 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
	D データの活用		ウ 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	ウ 数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	ウ データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ウ データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
A 数量の基礎	ア 具体的に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。						
	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。 ㊧ 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりすること。						
	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えること。						
	イ ものともを対応させることに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。						
	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ ものともを対応させて配ること。 ㊧ 分割した絵カードを組み合わせること。 ㊨ 関連の深い絵カードを組み合わせること。						
	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ ものともを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすること。						

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
A 数と計算 (1段階はB)	ア 数えることの基礎に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 10 までの数の数え方や表し方、構成に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 100 までの整数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 整数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 整数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 整数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 整数の性質及び整数の構成に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ ものの有無に気付くこと。 ㊧ 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すこと。 ㊨ 5までの範囲で数唱をすること。 ㊩ 3までの範囲で具体物を取ること。 ㊪ 対応させてものを配ること。 ㊫ 形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付くこと。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ ものともとの対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少が分かること。 ㊧ ものの集まりと対応して、数詞が分かること。 ㊨ ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。 ㊩ 個数を正しく数えたり書き表したりすること。 ㊪ 二つの数を比べて数の大小が分かること。 ㊫ 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いること。 ㊬ 0の意味について分かること。 ㊭ 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと。 ㊮ 具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けてみること。 ㊯ 10の補数が分かること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。 ㊧ 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりすること。 ㊨ 100 までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすること。 ㊩ 数える対象を2ずつや5ずつのまとまりで数えること。 ㊪ 数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすること。 ㊫ 具体物を分配したり等分したりすること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 1000 までの数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりすること。 ㊧ 3位数の表し方について理解すること。 ㊨ 数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。 ㊩ 3位数の数系列、順序、大小について、数直線上の目盛りを読んで理解したり、数を表したりすること。 ㊪ 一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けてみること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 4位数までの十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について、理解すること。 ㊧ 10倍、100倍、1/10の大きさの数及びその表し方について知ること。 ㊨ 数を千を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解を深めること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 万の単位を知ること。 ㊧ 10倍、100倍、1000倍、の大きさの数及びその表し方の理解を深めること。 ㊨ 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解すること。 ㊧ 約数、倍数について理解すること。
	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 数詞ともとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。
						イ 整数及び小数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
						(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ ある数の10倍、100倍、1000倍、1/10 1/100、などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすこと。

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
A 数と計算 (1段階はB)			(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㉞ 日常の事象における数量の関係に着目し, 計算の意味や計算の仕方を見付け出したり, 学習や生活で生かしたりすること。	(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㉞ 数量の関係に着目し, 数を適用する範囲を広げ, 計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに, 日常生活で生かすこと。	(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㉞ 数量の関係に着目し, 数の適用範囲を広げ, 計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに, 日常生活で生かすこと。	(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㉞ 数量の関係に着目し, 計算の仕方を考えたり, 計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに, その性質を活用して, 計算を工夫したり, 計算の確かめをしたりすること。	(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㉞ 分数の意味や表現に着目し, 計算の仕方を考えること。
				ウ 整数の乗法に関わる数学的活動を通して, の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 整数の乗法に関わる数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。	オ 整数の乗法に関わる数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
				(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㉞ 乗法が用いられる場合や意味について知ること。 ㉟ 乗法が用いられる場面を式に表したり, 式を読み取ったりすること。 ㊱ 乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解すること。 ㊲ 乗法九九について知り, 1位数と1位数との乗法の計算ができること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㉞ 1位数と1位数との乗法の計算ができ, それを適切に用いること。 ㉟ 交換法則や分配法則といった乗法に関して成り立つ性質を理解すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㉞ 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が, 乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また, その筆算の仕方について理解すること。 ㉟ 乗法の計算が確実にでき, それを適切に用いること。 ㊱ 乗法に関して成り立つ性質について理解すること。	
				(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㉞ 数量の関係に着目し, 計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに, 日常生活で生かすこと。	(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㉞ 数量の関係に着目し, 計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに, 日常生活で生かすこと。	(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㉞ 数量の関係に着目し, 計算の仕方を考えたり, 計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに, その性質を活用して, 計算を工夫したり, 計算の確かめをしたりすること。	

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
A 数と計算 (1段階はB)					エ 整数の除法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	カ 整数の除法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
					(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 除法が用いられる場合や意味について理解すること。 ⑧ 除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。 ⑨ 除法と乗法との関係について理解すること。 ⑩ 除数と商が共に1位数である除法の計算ができること。 ⑪ 余りについて知り、余りの求め方が分かること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。 ⑧ 除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。 ⑨ 除法について、次の関係を理解すること。(被除数) = (除数) × (商) + (余り) ⑩ 除法に関して成り立つ性質について理解すること。	
					(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活に生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすること。	
					オ 小数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	キ 小数とその計算に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
					(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知ること。 ⑧ 1/10の位までの小数の仕組みや表し方について理解すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ること。 ⑧ 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めること。 ⑨ 小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができること。 ⑩ 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができること。	
					(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。	

学部	小学部			中学部		高等部		
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階	
A 数と計算 (1段階はB)					(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㊦ 数のまとまりに着目し, 数の表し方の適用範囲を広げ, 日常生活に生かすこと。	(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㊦ 数のまとまりに着目し, 分数でも数の大きさを比べたり, 計算したりできるかどうかを考えるとともに, 分数を日常生活に生かすこと。 ㊧ 数を構成する単位に着目し, 大きさの等しい分数を探したり, 計算の仕方を考えたりするとともに, それを日常生活に生かすこと。		
					キ 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。	コ 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。	オ 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
					(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 数量の関係を式に表したり, 式と図を関連付けたりすること。 ㊧ □などを用いて数量の関係を式に表すことができることを知ること。 ㊨ □などに数を当てはめて調べること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 四則の混合した式や()を用いた式について理解し, 正しく計算すること。 ㊧ 公式についての考え方を理解し, 公式を用いること。 ㊨ 数量を□, などをを用いて表し, その関係を式に表したり, □, などに数を当てはめて調べたりすること。 ㊩ 数量の関係を表す式についての理解を深めること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 数量を表す言葉や□, などの代わりに, a, xなどの文字を用いて式に表したり, 文字に数を当てはめて調べたりすること。	
					(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㊦ 数量の関係に着目し, 事柄や関係を式や図を用いて簡潔に表したり, 式と図を関連付けて式を読んだりすること。	(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㊦ 問題場面の数量の關係に着目し, 数量の關係を簡潔に, また一般的に表現したり, 式の意味を読み取ったりすること。 ㊧ 二つの数量の対応や変わり方に着目し, 簡単な式で表されている関係について考察すること。	(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㊦ 問題場面の数量の關係に着目し, 数量の關係を簡潔かつ一般的に表現したり, 式の意味を読み取ったりすること。	
						サ 計算に関して成り立つ性質に関わる数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
						(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 四則に関して成り立つ性質についての理解を深めること。		
						(イ) 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㊦ 数量の關係に着目し, 計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えること。		

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
B 図形 (1段階はC)	ア ものの類別や分類・整理に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア ものの分類に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 平面図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 平面図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。 ㊧ 形を観点に区別すること。 ㊨ 形が同じものを選ぶこと。 ㊩ 似ている二つのものを結び付けること。 ㊪ 関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせること。 ㊫ 同じもの同士の集合づくりをすること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 色や形、大きさに着目して分類すること。 ㊧ 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること。 ㊧ 具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。 ㊨ 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 直線について知ること。 ㊧ 三角形や四角形について知ること。 ㊨ 正方形、長方形及び直角三角形について知ること。 ㊩ 正方形や長方形で捉えられる箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり、分解したりすること。 ㊪ 直角、頂点、辺及び面という用語を用いて図形の性質を表現すること。 ㊫ 基本的な図形が分かり、その図形をかいたり、簡単な図表を作ったりすること。 ㊬ 正方形、長方形及び直角三角形をかいたり、作ったり、それらを使って平面に敷き詰めたりすること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に着目すること。 ㊧ 二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスなどを用いて作図すること。 ㊨ 基本的な図形と関連して角について知ること。 ㊩ 直線の平行や垂直の関係について理解すること。 ㊪ 円について、中心、半径及び直径を知ること。また、円に関連して、球についても直径などを知ること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 平行四辺形、ひし形、台形について知ること。 ㊧ 図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解すること。 ㊨ 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。 ㊩ 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。 ㊪ 円周率の意味について理解し、それを用いること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 縮図や拡大図について理解すること。 ㊧ 対称な図形について理解すること。
	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉えること。 ㊧ ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつこと。 ㊨ ものともとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心をもって対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。 ㊧ 身の回りにあるものの形を図形として捉えること。 ㊨ 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見いだし、身の回りのものの形を図形として捉えること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すこと。 ㊧ 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすること。

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
B 図形 (1段階はC)						イ 立体図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
						(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 立方体、直方体について知ること。 ㊧ 直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解すること。 ㊨ 見取図、展開図について知ること。 ㊩ 基本的な角柱や円柱について知ること。	
						(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。	
						ウ ものの位置に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 身の回りにある形の概形やおよその面積などに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
						(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ ものの位置の表し方について理解すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めること。
						(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かすこと。

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
B 図形 (1段階はC)		イ 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 角の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		イ 面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	エ 平面図形の面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 平面図形の面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知ること。 ㊧ 縦や横の線、十字、△や□をかくこと。 ㊨ 大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 傾斜をつくると角ができることを理解すること。		(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 面積の単位[平方センチメートル(cm ²)、平方メートル(m ²)、平方キロメートル(km ²)]について知り、測定の意味について理解すること。 ㊧ 正方形及び長方形の面積の求め方について知ること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 円の面積の計算による求め方について理解すること。
		(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現すること。		(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 面積の単位に着目し、図形の面積について、求め方を考えたり、計算して表したりすること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。
					ウ 角の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		エ 立体図形の体積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
					(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 角の大きさを回転の大きさとして捉えること。 ㊧ 角の大きさの単位(度(°))について知り、測定の意味について理解すること。 ㊨ 角の大きさを測定すること。		(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 体積の単位(立方センチメートル(cm ³)、立方メートル(m ³))について理解すること。 ㊧ 立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解すること。 ㊨ 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解すること。
					(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 角の大きさの単位に着目し、図形の角の大きさを的確に表現して比較したり、図形の考察に生かしたりすること。		(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。 ㊧ 図形を構成する要素に着目し、基本図形の体積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。

学部	小学部			中学部		高等部		
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階	
C 測定 (1段階はD)	ア 身の回りにおける具体物のものつ大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りにおける具体物の量の大きさに注目し、二つの量の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りのものの量の単位と測定に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 量の単位と測定に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。				
	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別すること。 ㊧ ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。 ㊧ 二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること。 ㊨ 長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較すること。 ㊧ 身の回りにおけるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 目盛の原点を対象の端に当てて測定すること。 ㊧ 長さの単位[ミリメートル(mm)、センチメートル(cm)、メートル(m)、キロメートル(km)] や重さの単位[グラム(g)、キログラム(kg)] について知り、測定の意味を理解すること。 ㊨ かさの単位[ミリリットル(mL)、デシリットル(dL)、リットル(L)]について知り、測定の意味を理解すること。 ㊩ 長さ、重さ及びかさについて、およその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりすること。				
	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現すること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすること。				
			イ 時刻や時間に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 時刻や時間に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。				
			(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 日常生活の中で時刻を読むこと。 ㊧ 時間の単位(日、午前、午後、時、分)について知り、それらの関係を理解すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 時間の単位(秒)について知ること。 ㊧ 日常生活に必要な時刻や時間を求めること。				
		(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現すること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすこと。					

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
C 変化と関係					イ 二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
					(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知ることを知る。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。 ⑧ 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくらうこと。
					(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 日常生活における数量の関係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察すること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係を別の二つの数量の関係を比べる方を考察し、それを日常生活に生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係を比べる方を考察し、それを日常生活に生かすこと。
D データの活用		ア ものの分類に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りにある事象を簡単な絵や図、記号に置き換えることに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りにあるデータを簡単な表やグラフで表したり、読み取ったりすることに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア データを表やグラフで表したり、読み取ったりすることに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 身近なものを目的、用途、機能に着目して分類すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ ものともとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすること。 ⑧ 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりすること。 ⑧ データを二つの観点から分類及び整理し、折れ線グラフで表したり、読み取ったりすること。 ⑨ 表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその使い方を理解すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすること。 ⑧ 円グラフや帯グラフの意味やそれらの使い方を理解すること。 ⑨ データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 代表値の意味や求め方を理解すること。 ⑧ 度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの使い方を理解すること。 ⑨ 目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解すること。
		(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現すること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりすること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら読み取ったり、考察したり、結論を表現したりすること。 ⑧ 目的に応じてデータを集めて分類及び整理し、データの特徴や傾向を見つけて、適切なグラフを用いて表現したり、考察したりすること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察すること。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察すること。

学部	小学部			中学部		高等部	
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
D データの活用		イ 同等と多少に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。				イ 測定した結果を平均する方法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 起こり得る場合に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ ものともとの対応させることにより、ものの同等や多少が分かること。				(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 平均の意味や求め方を理解すること。	(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの使い方を理解すること。
		(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現すること。				(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。	(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察すること。
		ウ $\bigcirc \times$ を用いた表に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。					
		(ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㊦ 身の回りの出来事から $\bigcirc \times$ を用いた簡単な表を作成すること。 ㊧ 簡単な表で使用する $\bigcirc \times$ の記号の意味が分かること。					
		(イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ㊦ 身の回りの出来事を捉え、 $\bigcirc \times$ を用いた簡単な表で表現すること。					
「数学的活動」	ア 内容の「A数量の基礎」、「B数と計算」、「C図形」及び「D測定」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A数と計算」、「B図形」、「C測定」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A数と計算」、「B図形」、「C測定」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A数と計算」、「B図形」、「C測定」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A数と計算」、「B図形」、「C変化と関係」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A数と計算」、「B図形」、「C変化と関係」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A数と計算」、「B図形」、「C変化と関係」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。
	(ア) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、数量や形に関わる活動	(ア) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりする活動	(ア) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、算数に主体的に関わる活動	(ア) 日常生活の事象から見いだした数学の問題を、具体物や図、式などを用いて解決し、結果を確かめたり、日常生活に生かしたりする活動	(ア) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、数学の学習に関わる活動	(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動	(ア) 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動
	(イ) 日常生活の問題を取り上げたり算数の問題を具体物などを用いて解決したりして、結果を確かめる活動	(イ) 日常生活の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動	(イ) 日常生活の事象から見いだした算数の問題を、具体物、絵図、式などを用いて解決し、結果を確かめる活動	(イ) 問題解決した過程や結果を、具体物や図、式などを用いて表現し伝え合う活動	(イ) 日常の事象から見いだした数学の問題を、具体物や図、表及び式などを用いて解決し、結果を確かめたり、日常生活に生かしたりする活動	(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動	(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する活動
		(ウ) 問題解決した過程や結果を、具体物などを用いて表現する活動	(ウ) 問題解決した過程や結果を、具体物や絵図、式などを用いて表現し、伝え合う活動		(ウ) 問題解決した過程や結果を、具体物や図、表、式などを用いて表現し伝え合う活動	(ウ) 問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動	(ウ) 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動